

県立コザ高等学校 芸術科（美術Ⅱ）シラバス

教科名：芸術 科目名：美術Ⅱ	担当者：宮里義行
履修学年：2年（文系・芸術選択）	単位数：2単位
目 標	絵画・デザイン・立体・工芸などの造形的な創造活動を通して、美的体験を豊かにし美術を愛好する心情を育てるとともに、感性を高め、美術や工芸の文化についての理解を深め、個性豊かな美術の能力を高める。 （表現） ア 自然や自己、社会などを深く見つめた主題の生成 イ 心豊かな表現の構想と表現形式や材料・技法の活用 ウ 創造的な表現の追求 エ 生活を心豊かに創造する造形主題の生成 （鑑賞） ア 作品や作者の個性などについての多様な見方 イ 心豊かな生き方の創造に関わる美術と工芸の働き ウ 時代・民族・風土などによる表現の相違や共通性と美術文化
教 材	教科書： 光村図書 美術2 その他： 図録各種、参考図書、プリント教材等
授業方法及び形態	<ul style="list-style-type: none"> ・教科書や図録、資料集などの視聴覚教材やプリント教材などを多面的に利用して、実技を中心とした造形学習を行います。 ・演習的な簡易作品の制作からスケッチやデッサン、平面や立体等の長期的計画による課題作品の制作など計画的に実施します。制作後は作品展示による鑑賞や、コンクール出品、展示会等への出品も行います。 ・作品制作の課題が提示されれば、各自資料及び材料等を収集し、アイデアスケッチ等の制作計画を綿密に行うこと。 ・作品提出の締切厳守を心がけること。そのためには、授業中での真剣な取り組みが必要であり、必要に応じて課外制作によって対応すること。 ・定期考査は期末考査のみ実施します。夏休みの宿題があります。
成績評価の方法	1 観点別評価に応じた実技課題（作品制作）の評価（約70%） 2 定期考査の得点や宿題・プリント等の提出物の評価（約30%） 3 毎授業の学習意欲や態度及び出席状況 <観点別評価> I 美術に親しみ、自ら進んで表現や鑑賞に取り組めたか。 II 感じたことや考えたことから豊かに発想し表現できたか。 III 表現技法の技能を高めたり、新しい技法を創意工夫できたか。 IV 作品の良さや美しさを感じ取ったり味わったりすることができたか。
担当者より	美術を選択した皆さん。これから1年間楽しく美術の授業を進めていきましょう。 美術とは、別の言葉で「造形」ともいいます。形を造ると書きます。平面や立体を問わず、形を造るのです。目の前にある景色の形を写し取るだけではなく、自ら形を生み出していく。これが美術の本質です。ですから、「絵を描くのが苦手だ」という人でも、どんな形でもいいから、新しい形を造るという意識を持って頑張ってください。 文系を選択した皆さんは、今年度も2単位の芸術の授業がありますが、3年でも選択科目の中で美術Ⅲを選択することができます。美術Ⅲは少人数で、比較的専門的となり、特殊な材料を使うこともあって、中身が濃い授業となります。芸大や美大を受験したい生徒は是非選択して下さい。もちろんそれ以外の生徒でも、美術が好きな生徒であれば是非選択してみてください。 今年度も楽しく個性的で創造性を発揮して美術を楽しんでいきましょう。

美術Ⅱ 年間学習指導計画

学期 月	週 数	単元名・課題名	到達目標 学習のねらい
一 学 期	4月	2 ・オリエンテーション ・自己紹介	・学習のねらいと年間計画を学ぶ
	5月	6 ・平和へのメッセージ 平和をイメージする絵画制作	・恒久平和への願いを絵画で表現する ・描く楽しさを味わい絵画のメッセージ性と表現の技法を追求する
		4 ・表現の技法 コラージュ、デカルコマニー マーブリング、フロッター ジュ等の表現技法の演習	・色々な表現技法を学ぶことで、自由な発 送や創造的表現の面白さを追求する ・各技法の技能を習得し、作品への応用力 を身につける
	6月	12 ・リズム構成 グラデーションによるリズム 感のある構成画の制作	・アクリルガッシュの着彩技術を学ぶ ・色帯を配列することでリズム感のある画 面を想像し構成的作品を制作する ・過去の作例にとらわれず個性的で創造 的な作品を追求する。
	7月	2 ・読書感想画	・読書感想画の描き方 描写と配置の方法
8月	・読書感想画	・夏休みの宿題として読書感想画を仕上 げる ・読書の感動を絵画で表現する技術を追 求	
二 学 期	9月	4 ・鑑賞～西洋の美術を学ぶ 名画の模写やレポートを作成 する 美術史プリントをまとめる 原始美術から現代美術、日本 美術史まで	・美術史を通して鑑賞の目を養う ・絵画の変革を画家のエピソードや作 品を鑑賞して学ぶ ・日本文化と西洋文化の違いと影響の 関係を学ぶ ・模写やレポート制作で作品を深く味 わう ・近代から現代絵画の流れを通して芸 術の社会的役割を学ぶ・沖縄の文化 を理解し尊重する
	10月		・鑑賞～西洋の美術を学ぶ 名画の模写やレポートを作成 する 美術史プリントをまとめる 原始美術から現代美術、日本 美術史まで
	11月	14 ・ボックスアートの制作 絵画と立体を融合した空間表 現	・平面や立体を問わないアートの表現 方法の多様性を学ぶ。 ・決められた空間内にどのような世 界観を表現できるかを追求し、個 性的独創的な表現を目指す。
	12月	4 ・工芸～沖縄の陶芸 陶芸の制作過程、「面シーサー」 の制作	・陶器制作を通して可塑性のある素 材を体験し、立体造形としての表 現を学ぶ
三 学 期	1月	4 ・イラストレーションの制作 続き	・2年間の集大成として、個性を生か した表現方法によって、創造性 のあるイラストレーションを制作 する。 ・イラストレーションの表現方法を 学ぶ
	2月	6 ・アクセサリーの制作 ポリエステル樹脂を使用した ネックレスやストラップの制 作	・自由で個性的な表現方法を追求 し、自分自身の世界観を表現す る。
	3月		・デザインと工芸の多様性と素材 の特徴を学ぶ ・工芸の機能美を追学び、工芸が 豊かな精神をはぐくむものである ことを考える ・曲線の構成し、曲線美の美しさ を追求する。
	計	70 ・学年末の反省 鑑賞・反省・評価	・学年末を振り返ることで反省課 題を確認し今後の創造活動に役 立てる